

## 入会して2年を迎えるにあたって

渡邊 一男

私がOPCに加入させて頂いたのは、永田さんとの出会いがあったからです。私はOPCに入会する前から大田デジカメビデオ連盟（以下ODVF）に入っていました。ODVFは、大田区内の11個所の「文化センター」と、3ヶ所の「ゆうゆうくらぶ（旧：老人いこいの家）」に分散してクラブが存在します。永田さんは雪谷クラブに加入されており、私は大森東クラブに加入しています。ODVF全体で行われる行事の席で永田さんにお会いしたのが最初の出会いでした。ODVF内部には定例化した「なんでも相談」の仕組みは無く、私の関係するクラブで相談の要望があった場合は、「こらぼ大森」のミーティングルームで対応していました。そこでも永田さんと何回かお会いする機会があり、OPCへの入会を勧められ、入会して2年が経過しようとしています。OPCにはいくつかの例会があり、自分で興味のある例会に自由に参加することができるので、自分の好きな分野の能力を楽しみながら向上

ることが可能であり、とても良いと思います。いくつかの例会に参加させて頂きましたが、やはり自分の趣味に関連した活動に落ち着いてしまい、現在は「デジカメ・ビデオ」例会での活動が主となっています。

「デジカメ・ビデオ」例会のリーダーである影山さんのリーダーシップにより、毎月の例会での勉強、定期的な野外撮影会などが実施され、同趣味の方々と楽しく活動しています。例会や撮影場所で行われている「教え合い」は、会員相互の能力が向上すると共に親睦が深まり非常に良いと思っています。

カメラの操作法や写真撮影方法については、テキストによる勉強だけでなく、実習を交えた勉強も行われており、実践に大いに役立っていると思います。

定期的な野外撮影会では、初めて行く所も多く写真撮影場所のレポーターが増えています。

「デジカメ・ビデオ」例会では、パソコンソフトを利用して、撮影してきた写真やビデオに音楽素材を加えて動画を作ることも行っています。動画作成用ソフトには色々な種類があり、それぞれの長所・短所があり

ますので、会員相互に得意な所を「教え合い」、良い動画作品の制作を目指して活動しています。

一方、「デジカメ・ビデオ」例会の活動はOPC内部だけでなく、その特徴を生かして、大田区主催のイベントや講習会などの写真撮影やビデオ記録を行っていることを知りました。「こらぼ祭り」に参加し、地域住民との触れ合いを通して写真やビデオ撮影を行い、記録作りに役立っているのもその一例と思います。ある日、永田さんが私を「こらぼ大森」のスタッフの方に紹介して下さい、及ばずながら私に講習会のビデオ記録を託されました。その後、約一年間で3シリーズ開催された「こらぼ大森」主催の「NPO法人を対象とした会計ソフト」の講習会の講義内容を収録しました。合計13枚のビデオDVDを納めさせて頂き、いつでも「こらぼ大森」

にて自由に閲覧できる状態になっています。



また、大田区被災地支援ボランティア活動の一環で、大田区役所3Fエントランスで開催された「ともに描くTシャツプロジェクト」の実施状況のビデオ収録も行わせて頂きました。

時間の許す範囲で、対外的な活動に関与し、社会貢献をすると共にOPCの存在をPRすることで、新しい会員の増加に結び付き、更なる活性化が図れると良いと思っております。

— 以上 —

